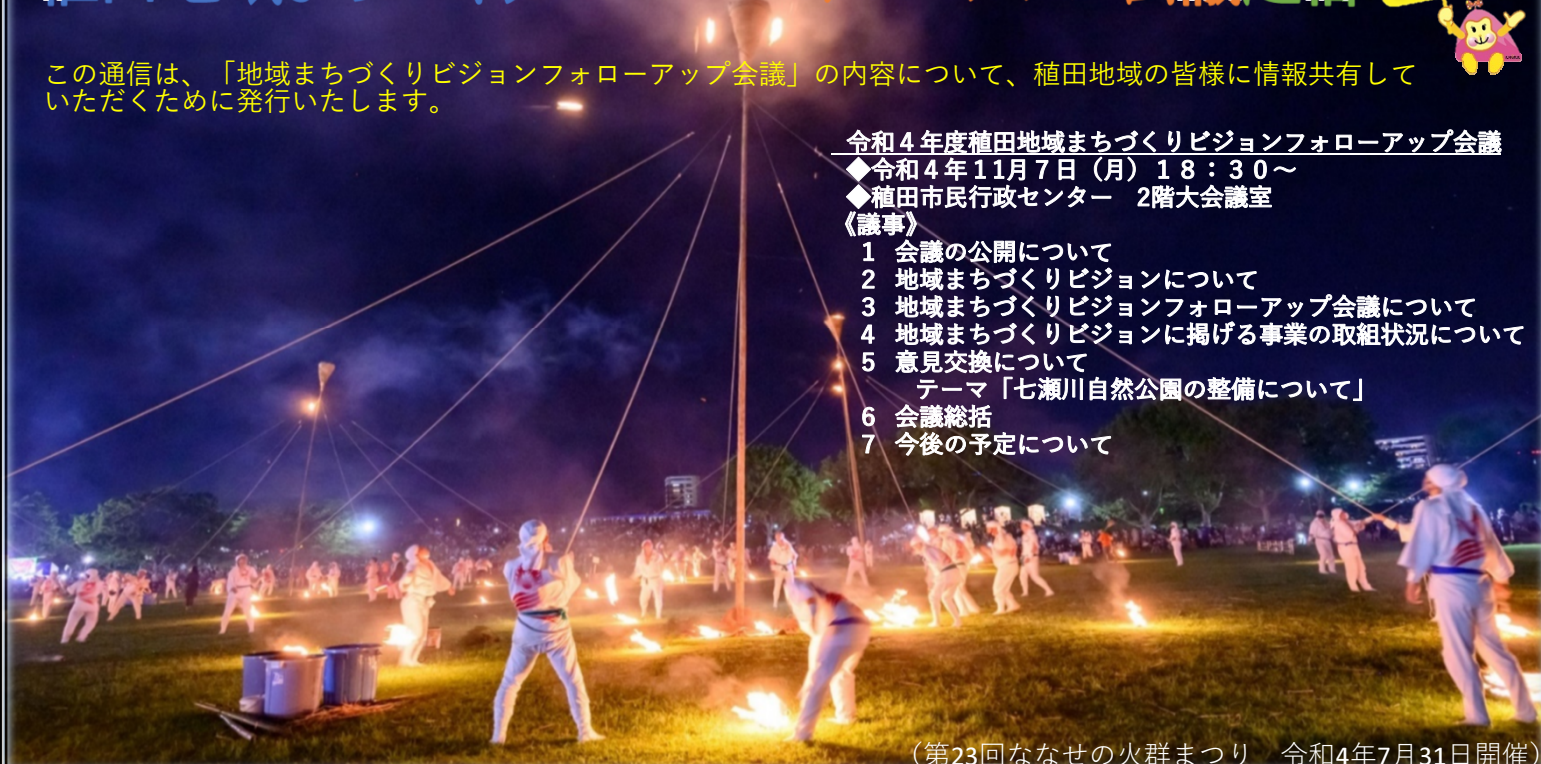



# 植田地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信 第4号

この通信は、「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」の内容について、植田地域の皆様に情報共有していただくために発行いたします。



(第23回ななせの火群まつり 令和4年7月31日開催)

## 令和4年度植田地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

◆令和4年11月7日(月)18:30~  
◆植田市民行政センター 2階大会議室

### 《議事》

- 1 会議の公開について
- 2 地域まちづくりビジョンについて
- 3 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- 4 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について
- 5 意見交換について  
テーマ「七瀬川自然公園の整備について」
- 6 会議総括
- 7 今後の予定について

## 《地域まちづくりビジョンフォローアップ会議とは…》

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業に関して、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれについて、取組状況を報告し、今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

## 《植田地域の将来像(コンセプト)》

# 自然があふれる 住みたくなるまち わさだ

## 地域資源を活用した子育て環境の整備

### 《事業名》子どもの教育環境の整備

◆植田地区の老朽化した学校を多様化する教育環境に対応した施設として、リノベーション及び改築を行う。

#### <事業の取組状況>

(行政) ・学校施設については、「大分市教育施設整備保全計画」(令和3年5月改訂)に基づき整備を進めることとしており、令和3年度には横瀬小学校体育館の長寿命化工事を行い、現在は植田西中学校の体育館大規模改修工事等を実施している。

(地域) ・現在、横瀬小学校の余裕教室が開放されており、集会室を地域の拠点とし、様々な活動に取り組んでいる。

・賀来小中学校の老朽化等に伴い、令和4年11月1日に早期整備について市長に要望した。



(大規模改修中の植田西中学校体育館)

## 快適で魅力あるまちづくりの促進

### 《事業名》地域行事の活性化(市補助金の充実)

◆地域の運動会など地域コミュニティの維持に寄与する行事開催に係る補助金の充実。

#### <事業の取組状況>

(行政) ・各校区、自治会が実施している行事・イベント等に「ご近所の底力再生事業」等、既存の補助事業の利用促進に向け事業の趣旨を周知徹底していくなかで、地域からの要望に対し個別対応を検討する。

(地域) ・令和4年2月に「寒田校区まちづくり協議会」が設立され、令和4年度から「地域づくり交付金」を活用し、様々な取り組みを行っている。

・横瀬校区では、平成29年から実施してきた「鯉のぼり祭り」について、来年度から地域まちづくり活性化事業の予算を活用し、事業を継続していくこととしている。



(横瀬校区「鯉のぼり祭り」)

## 誰もが安心して生活できる住環境の整備

### 《事業名》高齢者・障がい者等の防災対策

◆公営住宅の住環境を整備し、若年層の居住者を増やすことで災害時にも円滑に避難できる体制を構築する。

◆災害時の備蓄物資確保の取組や一人暮らしの高齢者、身体障がい者への支援体制の確保。

#### <事業の取組状況>

(行政) ・エレベーター設置住宅への建替えなどとして、大分市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に市営住宅の建替え実施をしており、現在市営敷戸東・南について集約建替えが完了している。

・災害用備蓄物資は、植田支所管内では小・中学校11箇所に分散して備蓄を行っており、物資を配送する体制を整えている。

・自主防災組織の活動を支援し、広報活動や防災訓練を通じ、防災意識の向上を図っていく。

・災害時に一人で避難することが困難な方に対し、実効性のある避難支援が行われるよう自主防災組織や自治委員と連携し、「避難行動要支援者対策事業」を行っている。

(地域) ・アルファ米の炊き出しや避難所運営等の実技訓練を、自主防災組織単位で実施している。

・緑が丘連合自治会防災会が、地震発生時の住民及び防災会の行動表」を作成した。

・自主防災組織ごとに避難行動要支援者への連絡体制の構築に取り組み、状況確認を行っている。



### ◎宗方校区◎

## 地域における防災への取組状況

### ◎駕野校区◎

・令和2年度に自治会長・民生委員・防災士・地域包括支援センター職員参加のもと、「避難所開設運営訓練」を実施した。

・独自の「避難所マップ」を作成し活用している。

・地域包括支援センターと連携し、「資源マップ(医療・福祉)」を作成し活用している。

・宗方小学校が指定避難所となっているが、高齢者等が近場の施設などに避難できるよう、地域で独自避難所として指定を行っている。

・令和4年度は「避難所運営・連携訓練」を予定している(令和5年2月12日開催予定)

・令和2年度に駕野校区防災士協議会が、避難途中の被災を防ぐため、地域ごとの防災リスクに対応した「駕野校区防災連携マニュアル」を作成し活用している。

・令和4年度は、「平素からできる地震への備え」をテーマに、自治委員と防災士を対象に研修会を開催した。

・年に2~3回「おしの防災だより」を発行し、全戸回覧している。



# 意見交換 ～テーマ「七瀬川自然公園の整備について」～



令和2年度のフォローアップ会議において、七瀬川自然公園の河川プールの設置については、河川管理者である国土交通省から安全上の問題が大きいとの理由で、これ以上の検討は困難であるとの回答をいただいております。しかしながら本会議において、委員の総意により、河川プールの設置について、再考するとの意見が出されていたことから、今回改めて「七瀬川自然公園の整備」をテーマとして選定し、公園全体や親水ゾーン周辺の整備に望むこと等について、意見交換を行いました。意見交換の内容（後日、回答を含む。）については、以下に掲載のとおりです。

## 公園全体に関すること

### Q. インターネットでの申込みについて

申請の手間や利用当日に他の団体も利用していたなどがあり、不便を感じたことがある。他の公共施設と同様にインターネットでの申し込みが出来るようにしてほしい。

Ⓐ 公園内の有料施設では、インターネットでの申し込みにより、施設利用ができる。その他の公園施設については、公園緑地課で利用状況の把握を行い、細部による場所の割り振りを行っていくことで、多くの方の公園利用につながるのではないかと考えている。

### Q. 鳥獣対策について

ヨシ等が繁茂しているとイノシシ等鳥獣のすみかとなるため、公園を整備する際に対策を講じてほしい。また、BBQエリアの拡張を進めるうえで、鳥獣対策の意味からも利用者がゴミを持ち帰る等マナーの徹底も行ってほしい。

Ⓐ イノシシ等の進入防止を図るため、ヨシ等が生えているエリアとの間に「緩衝帯（草刈り等をしっかりと行い、雑草等が繁茂した状況としない）」を設置するなど、自然と共生するかたちがよいのではないかと考えている。今後も、マナーを守った利用を行っていただけるよう、啓発を進めていきたい。

### Q. イベントのネット発信について

様々なボランティアグループが公園を活用して「ヨガ」などを行っている。そのような情報などをネット発信してほしい。

Ⓐ 原則、主催者側からの情報発信をお願いしている。市の事業に関連するイベント等においては、状況に応じて担当部署と協議を行う中で、掲載していきたいと考えている。



### Q. 店舗の設置について

公園内に「道の駅」や「川の駅」といった店舗があると、公園を利用する人にとっていいのでは。

Ⓐ 公園に店舗を設置する場合は、「道の駅」のような商品販売を目的とする施設ではなく、公園利用者の利便性を高めるような施設の設置が好ましいと考えている。

## 管理棟に関すること

### Q. 管理棟について

管理棟は今どのような使い方をしているのか。今後、管理棟の活用をどのように考えているか。

Ⓐ 現在、管理棟には公園の年間管理の委託業者が入っている状況であり、休憩スペースもあることから、団体利用等による事前の連絡があれば、休憩室としても利用できるようにしている。今後も同様の活用を考えている。

### Q. 遊具等の貸し出しについて

管理棟に人員を配置するなどして、BBQセットや川遊びができる遊具、釣り竿等の貸し出しをおこなってはどうか。

Ⓐ 遊具等の貸し出しは、河川での遊具利用に対する安全性の確保が難しいと考えている。BBQセットについては、今後の運営の参考とさせていただきたい。



## BBQエリアなどに関すること

### Q. 安全で安心な整備を

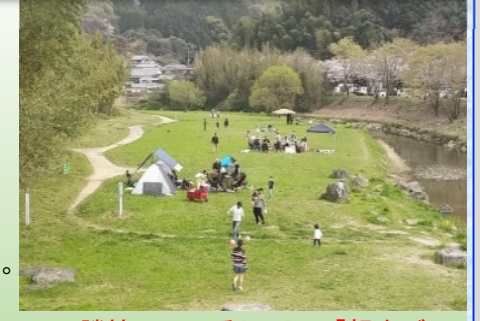
公園が整備された頃は川べりが非常に浅くならかであったが、年数の経過とともに水辺にはヨシが繁茂し、深い所もあるため危険である。また、水量が少ないため、よどんでいる状況もあり、安全で安心して親や子どもたちが集える環境づくりが必要ではないか。

Ⓐ 今後、整備が望まれているBBQエリアに隣接している河川の「親水ゾーン」については、護岸の段差が急であり、工事が必要になることが考えられるため、BBQエリアの拡張要望とあわせ、国土交通省との協議が必要になってくる。また、親がBBQを行いながらも、子どもを見守れる環境づくりにも努めていく。

### Q. 駐車場について

桜の季節をはじめ、年間を通じて駐車場が満車で利用できない状況がある。

Ⓐ 駐車場の問題については、市も把握をしているので、今後、検討していきたい。



## 意見交換の総括

### ◆親水ゾーン（旧河川）について

河川エリアの充実を図るため、傾斜が緩やかで浅瀬のある下流側までBBQエリアの拡張を行い、BBQを楽しみながら、子どもの見守りを行えるエリアを増設出来るよう、河川管理者である国土交通省と協議を行っていく。

### ◆これからの公園づくりについて

七瀬川自然公園は、子どもから大人まで楽しめる憩いの場所となっている。今後も、安全・安心で魅力ある公園づくりに取り組んでいく。

### Q. 地域の自然環境の調査を

自然の川を利用するため、親が子どもの見守り（把握）が完全にできる場所ではなくはないと思うが、イノシシ等の出没の話もあることから、地域の自然環境をしっかり調査して整備を行ってほしい。

Ⓐ 現在の自然環境への配慮も行いつつ、親による子どもを見守るための死角が生じないよう国土交通省と協議を行い、環境の整備に努めていく。

～ 全ての校区、自治会で取り組んでいきましょう ～

## 地域の防災力向上

いつ発生するか分からない災害に備え、実災害を想定した実効性のある防災訓練を行い、災害に強い地域づくりに取り組みましょう！

## 地域行事の活性化

地域で取り組んでいるイベントやお祭りに参加することにより交流を深め、みんなで協力して、より良い地域を創っていきましょう！

